

血糖値上昇抑制作用 バナバエキス

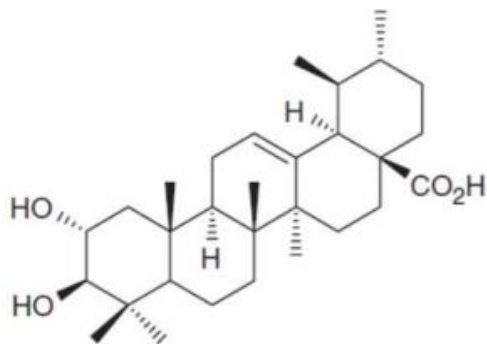
バナバとは



バナバ（和名：オオバナサルスベリ、学名：Lagerstroemia speciosa）はミソハギ科の植物でインドネシアやタイなどの熱帯、亜熱帯地域に分布しています。その葉は煮だし茶などの食材に用いられ、フィリピンでは糖尿病の治療のための民間薬として飲用されています。

関与成分

バナバ葉由来コロソリン酸



バナバの主成分であるコロソリン酸はトリテルペンの一種であり、糖尿病モデル動物およびヒト細胞試験から、細胞や体組織への糖の取り込みを促進し、血糖値を低下させる作用、食後の血糖値の急激な上昇を抑制する作用、肝臓での糖新生を抑制する作用等が報告されてます。

受理済み

ヘルスクレーム例

本品にはバナバ葉由来コロソリン酸が含まれます。バナバ葉由来コロソリン酸には、健常な方の高めの空腹時血糖値を下げる機能があることが報告されています。

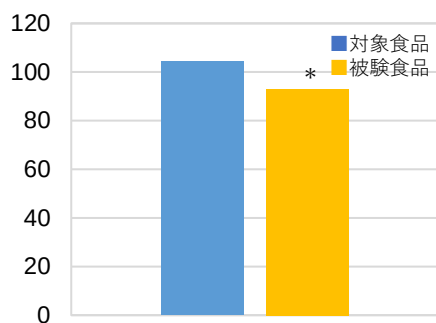
1日摂取目安量：バナバ葉由来コロソリン酸0.9mg

臨床試験データ

健康な成人男女30名にバナバ葉由来コロソリン酸0.9mg含有カプセルを12週間摂取させ、空腹時血糖、HbA1cを測定した。

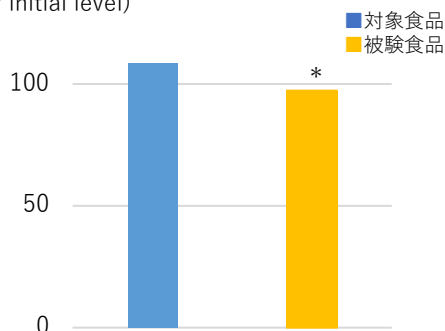
(出典) Food Funct. 2014; 5(7): 1621-30.

空腹時血糖
(% of initial level)



空腹時血糖の変化率
* 対照食品と比較して $p < 0.05$

HbA1c
(% of initial level)

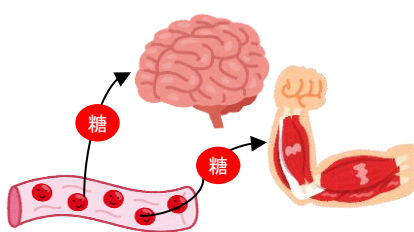


HbA1cの推移
* 対照食品と比較して $p < 0.05$

作用メカニズム -3つの作用-



糖の分解抑制による
食事由来の**糖の分解抑制**



GLUT4の活性化による
筋骨格への**糖取り込み促進**



糖代謝酵素の鍵を増加させ
糖新生を抑制・解糖系を促進

原料基本情報

一般名称	バナバエキス
原材料表示例	バナバエキス末（デキストリン、バナバエキス）
性状	緑がかった薄茶色粉末
機能性関与成分	バナバ葉由来コロソリン酸
推奨量	バナバエキスとして 2%品：45mg/日～ 10%品：9mg/日～
溶解性	不溶性
原産地	インド
最終加工国	インド
相性のいい剤形	サプリメント剤形等
アレルギー	なし

- ・記載の素材を使用した消費者商品への表示には、薬機法、景表法、健康増進法等の関連法規に従うようご注意ください。
- ・本資料は一切の開示、複写、配布その他の利用はお断りしております。何卒ご理解いただきますようお願いいたします。
- ・本資料は、販売会社向けの資料として作成したものであり、販売促進用として消費者に提供することは禁じます。

お問い合わせ先

岩瀬コスファ株式会社

ウェルネス事業部

【東京】 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目2番1号 岸本ビルディング1階
TEL：03-6841-3456(代) FAX：03-6848-3456

【大阪】 〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目7番11号
TEL：06-6231-3456(代) FAX：06-6231-8109